

これまでに<胃癌>に対する<化学療法後に胃癌の切除術>を受けた患者さんへ
【過去の治療データ/検体等の調査研究への使用について】

神戸市立医療センター西市民病院<外科>では<胃癌 conversion surgery における低侵襲手術の意義>という臨床研究を行っています。

この研究は胃癌に対してコンバージョン手術（化学療法後に胃癌の切除術）を受けられた患者さんにおいて、低侵襲手術と開腹手術の術後短期及び長期成績を比較・検討することで、低侵襲手術の有用性を検討することを目的としています。

そのため、過去に<化学療法後に胃癌の切除術>を受けた患者さんの<カルテ等の治療データ、レントゲン・CT 画像のデータ等)>を使用させていただきます。

○対象となる期間・収集期間

調査対象期間	西暦 2011 年 1 月 1 日 から西暦 2022 年 12 月 31 日
データ収集期間	承認後から西暦 2025 年 3 月 31 日

○調査研究の対象

これまでに<化学療法後に胃癌の切除術>を受けた患者さんの<カルテ等の治療データ、レントゲン・CT 画像のデータ等)>といった過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはありません。

○個人情報の取り扱い

使用するデータは個人が特定されないよう、匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。また、研究成果は学会や科学専門誌などの発表に利用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることなく、個人情報は守られます。

○利用の範囲

神戸市立医療センター西市民病院 外科
京都大学 消化管外科

○本研究の利益相反について

この調査研究は、神戸市立医療センター西市民病院<外科>の研究費で行っており、特定の企業・団体からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合は、お手数ですが、下記の問い合わせ先まで連絡ください。同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

神戸市立医療センター西市民病院 外科
研究責任者：姜貴嗣 / 連絡担当者：姜貴嗣
TEL：078-576-5251（代）